



※受理年月日	R7 年 6 月 6 日
※受理番号	R7-13
※備考	

変更届出書

令和7年5月27日

鹿児島県知事 殿

株式会社トーア
代表取締役 渡瀬 登
宮崎県都城市早水町4500番地

大規模小売店舗立地法第6条第2項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

ダイレックス末吉店
鹿児島県曾於市末吉町二之方字大園道添5137-1 外4筆

2 変更しようとする事項

(1) 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

① 駐輪場の位置及び収容台数

(変更前)

位 置	収容台数
建物北側〔資料-3 平面図兼配置図(変更前)上に記載・駐輪場〕	11台

(変更後)

位 置	収容台数
建物北西側〔資料-4 平面図兼配置図(変更後)上に記載・駐輪場〕	11台

② 荷さばき施設の位置及び面積

(変更前)

位 置	面 積
建物内北側〔資料-3 平面図兼配置図(変更前)上に記載・荷さばき施設〕	81m ²

(変更後)

位 置	面 積
建物北側〔資料-4 平面図兼配置図(変更後)上に記載・荷さばき施設〕	81m ²

③ 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

(変更前)

位 置	容 量
建物内北側〔資料-3 平面図兼配置図(変更前)上に記載・廃棄物等保管施設〕	43m ³

(変更後)

位 置	容 量
建物内北側〔資料-4 平面図兼配置図(変更後)上に記載・廃棄物等保管施設〕	43m ³

(2) 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

①大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

(変更前) 開店時刻：午前10時 閉店時刻：午後 8時

(変更後) 開店時刻：午前 9時 閉店時刻：午後10時

②来客が駐車場を利用することができる時間帯

(変更前) 午前9時30分～午後 8時15分

(変更後) 午前8時30分～午後10時30分

③荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

(変更前) 午前9時30分～午後 8時15分

(変更後) 午前0時00分～午後12時00分(24時間)

3 変更する年月日

令和7年7月31日

4 変更する理由

テナント入替のため

〔 設 置 者 、 建 物 等 の 概 要 〕

1 変更の趣旨

この度、ファッションセンターしまむら末吉店の閉店に伴い、新たなテナントとして「ダイレックス株式会社」を誘致し、店舗の活性化を図るとともに、営業時間等の運営方法や施設の配置等を見直すことといたしました。

地域の皆様方の日常生活の利便性の向上と豊かな生活環境の実現のために微力を尽くしていくとともに、地域にお住まいの方々に対しましては、騒音問題や交通問題への対策を講じ、皆様方にご迷惑をお掛けすることがないように配慮して営業を行っていく所存であります。

2 大規模小売店舗設置者の連絡先等

(1) 設置者の連絡先及び電話番号・FAX番号

＜小売業者＞

ダイレックス株式会社 店舗開発部 黒岩政文
佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬930番地
TEL 0952-32-6511 FAX 0952-32-6761

(2) ①周辺の生活環境保持の対応策の小売業者等への周知措置

従業員に届出書及び添付資料の内容を説明することで、施設の運営方法の明確化を図るとともに、定期的なテナント会議により周知徹底を図る。

②周辺の生活環境保持のための監督・管理責任者

ダイレックス末吉店 店長

3 法人にあっては登記事項証明書、個人にあってはその住民票の写し〔規則第41条①〕

別添のとおり

4 小売業者一覧

	小売業者名	店舗面積	業種・業態	主として販売する物品
核となる小売業者	ダイレックス株式会社	1,350㎡	ディスカウントストア	食料品、衣料品、住・生活関連用品等
その他の小売業者	該当なし			

5 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面〔規則第41条③〕

(1) 建物位置図

別添「資料－1 建物位置図（広域図）」参照

(2) 周辺見取図

別添「資料－2 周辺見取図」参照

(3) 建物配置図

別添「資料－3 平面図兼配置図（変更前）」参照

別添「資料－4 平面図兼配置図（変更後）」参照

(4) 各階平面図

別添「資料－3 平面図兼配置図（変更前）」参照

別添「資料－4 平面図兼配置図（変更後）」参照

6 店舗施設計画の概要

(1) 計画地の概要

①敷地面積及び土地の所有形態

建物・駐車場敷地	3,715㎡	賃貸借契約
合 計	3,715㎡	

②法令上の用途等

都市計画法上の用途地域 無指定地域

③現在の利用状況

ファッションセンターしまむら末吉店が立地し、営業中。

(2) 計画地周辺の概要

①立地環境

建物敷地北東側：戸建住宅が立地する。

建物敷地南東側：私道を挟み林が面する。

建物敷地南西側：市道町畑線を挟み駐車場用地が面する。

建物敷地北西側：国道269号を挟み事業所等が立地する。

②隣接地の用途現況

別添「資料－2 周辺見取図」参照

③基盤整備に関する事業の有無とその内容

該当事業なし

④街並みづくり計画の有無とその内容

当該計画なし

⑤都市計画及び中心市街地活性化基本計画との関連性

特になし

(3) 建築着工予定年月日及び完成予定年月日

該当なし

(4) 建物の構造及び規模

①建物構造

鉄骨造 平屋建て

②店舗面積の内訳

イ 建築面積；1,451㎡

ロ 延べ面積；1,478㎡

ハ 各階ごとの店舗面積及び延べ面積等

(単位：㎡)

	店舗面積	その他の施設	延べ面積
1 F	1,350	128	1,478

(5) その他の施設計画と各施設面積

利用者層が同一の併設施設		
施設名	営業面積	営業時間
該当施設なし	0㎡	—

利用者層が異なる併設施設			
施 設 名	事業主体	営業面積	営業時間
該当施設なし	—	0㎡	—

- (6) 開店若しくは施設変更等の届出時に対応策の前提として調査・予測した結果と大きく乖離があり、対応が著しく不十分である場合の追加的対応方針

事前予測結果と変更後の状況に大きな乖離が生じた場合には、再度調査・予測を実施した上で、必要な追加的対応策を講じていく。

7 その他（特記事項）

特になし

〔 駐 車 需 要 の 充 足 等 〕

1 駐輪場の計画（原動機付き自転車を含む）

（1）駐輪台数の算出根拠

ア 指針参考による駐輪台数の算出

店舗面積（1,350㎡）÷35㎡＝（39台）

イ その他の方法による駐輪台数の算出

駐輪場設置 条例の有無	有（ 条例名 ） ・ （無）					
必要駐輪台数 の予測結果及 び算出根拠	事 項		備 考			
	ア) ピーク時自動車来店台数	82台	大店立地法指針の算定式より			
	イ) 来店自動車台数に対する 自転車の割合	11.6%	「平成27年全国都市パーソントリップ調査集計結果」 から曾於市が該当する地方都市圏における私用目的分 担率より、休日の値を用いると、			
				自動車 (a)	自転車 (b)	(a)に対する (b)の割合
			平日	61.3%	14.5%	23.7%
			休日	76.6%	8.9%	11.6%
ウ) 平均駐輪時間係数	0.6238	大店立地法指針の算定式より				
必要駐輪台数	6台	ア×イ×ウ（端数処理：四捨五入）				
必要駐輪台数	6台					

（2）駐輪場の構造、収容台数及び面積

駐輪場No.	駐輪場構造	収容台数	面 積	駐輪区画の大きさ	
				一般用	三輪車・バイク用
駐輪場	平面式	11台	11.0㎡	0.5m×2.0m	0.5m×2.0m

（3）駐輪場の管理体制

項 目	内 容
整理員等の配置	・店舗従業員の適宜見回りにて対応する。
営業時間外の管理等	・閉店後には、駐車場出入口をバリカーにて閉鎖することで、駐輪場を使用できなくする。

（4）駐輪場案内の表示方法

駐輪場である旨の路面標示（別添「資料－4 平面図兼配置図（変更後）」参照）

2 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯 [規則 § 4 I ⑦]

(1) 荷さばき施設の概要

荷さばき施設No.	同時作業の可能な台数		待機スペースの有無・広さ
	想定する車両の大きさ	台数	
荷さばき施設	4 t 車	1台	(無) ・ 有

(2) 荷さばきを行う時間帯

時 間 帯	車両の大きさ	車両台数	平均的な処理時間 (分)	荷さばき待ちの台数
6:00～ 7:00	4 t 車	2台	20分	0台
7:00～ 8:00		0台	0分	0台
8:00～ 9:00		0台	0分	0台
9:00～10:00	4 t 車	2台	20分	0台
10:00～11:00	4 t 車	1台	20分	0台
11:00～12:00		0台	0分	0台
12:00～13:00		0台	0分	0台
13:00～14:00	4 t 車	1台	20分	0台
14:00～15:00	4 t 車	1台	20分	0台
15:00～16:00	4 t 車	1台	20分	0台
16:00～17:00	4 t 車	1台	20分	0台
17:00～18:00		0台	0分	0台
18:00～19:00		0台	0分	0台
19:00～20:00		0台	0分	0台
20:00～21:00	4 t 車	1台	20分	0台
21:00～22:00		0台	0分	0台
22:00～23:00	4 t 車	2台	20分	0台
23:00～ 0:00		0台	0分	0台
0:00～ 1:00		0台	0分	0台
1:00～ 2:00		0台	0分	0台
2:00～ 3:00		0台	0分	0台
3:00～ 4:00		0台	0分	0台
4:00～ 5:00		0台	0分	0台
5:00～ 6:00	4 t 車	1台	20分	0台
合 計		13台	—	—

(3) 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数	対 応 等
無	1箇所 (出入口No.1を共用)	・搬出入業者には、出入口を横断する歩行者及び自転車との接触を回避するよう入出庫時の安全運転を徹底させる。

(4) 小売業者が複数の場合の荷さばき施設の運営計画
該当なし

(5) 搬出入事業者への混雑が少なくなるような経路選択の働きかけ
特になし

(6) 搬出入の経路上に学校等が位置する場合の運行時間帯、交通整理員の配置等の配慮
特になし

3 その他 (特記事項)

特になし

〔騒音の発生に係る事項〕

- 1 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあつては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面
〔規則 § 4 I ⑨〕

項 目	設置の有無	稼働時間帯	位 置
冷却塔	(無)・有	—	—
室外機	無・(有)	8:30～22:00	別添「資料-5 騒音発生源位置図」参照
送風機	(無)・有	—	—
排気口	無・(有)	8:30～22:00	別添「資料-5 騒音発生源位置図」参照
その他 (冷凍冷蔵庫屋外機)		終 日	別添「資料-5 騒音発生源位置図」参照
その他 (キュービクル)		終 日	別添「資料-5 騒音発生源位置図」参照

※特別な事情による騒音の総合的な予測
該当なし

騒音の総合的な予測方法
該当なし

騒音規制法の特定施設の設置届出の有無
有：鹿児島県公害防止に基づく「騒音に係る指定施設」の届出
該当する施設：圧縮機（冷凍機に付随しているものを含む）
（原動機の定格出力が7.5キロワット以上のもの）

- 2 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠
(1) 予測地点の選定及び環境基準等
別添「資料-6 騒音予測地点位置図」参照

予測地点	環境基準		規制基準	選定理由
	昼 間	夜 間	夜 間	
A地点 (h=1.5m)	55dB	45dB	45dB	駐車場内を走行する自動車走行音、荷さばき施設及び廃棄物等保管施設から発生する作業音の影響を最も受けると思われる住居敷地内とした（1階建て1階部）。
B地点 (h=1.5m)	55dB	45dB	45dB	駐車場出入口付近を走行する来客車両走行音の影響を最も受けると思われる住居敷地内とした（1階建て1階部）。
C地点 (h=1.5m)	55dB	45dB	45dB	建物南西側に設置される設備機器の稼働音の影響を最も受けると思われる空地とした。

※建物敷地南東側には林が面しており、騒音の影響を受ける住居等の立地がないことから予測地点を選定していない。

予測地点	環境基準		規制基準	選定理由
	昼 間	夜 間	夜 間	
a 地点 (h=1.5m)	55dB	45dB	45dB	荷さばき施設から発生する作業音の影響を最も受けると思われる敷地境界線上とした。
b 地点 (h=1.5m)	55dB	45dB	45dB	駐車場出入口付近を走行する自動車走行音の影響を最も受けると思われる敷地境界線上とした。
c 地点 (h=1.5m)	55dB	45dB	45dB	建物南西側に設置され、夜間発生する設備機器の稼働音の影響を最も受けると思われる敷地境界線上とした。

※ 建物敷地南東側には林が面しており、騒音の影響を受ける住居等の立地がないことから予測地点を選定していない。

(2) 昼間の等価騒音レベルの予測

騒音発生源		基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)			各予測地点における騒音レベル(dB)		
		騒音レベル(dB)	※根拠		A地点	B地点	C地点	A地点	B地点	C地点
定常騒音	1 室外機1	59.1	*1	8:30~22:00	40.4	86.9	56.8	26.3	19.6	23.3
	2 室外機2	62.0	*1	8:30~22:00	41.4	86.6	55.7	29.0	22.5	26.4
	3 室外機3	62.0	*1	8:30~22:00	42.7	86.4	54.5	28.7	22.6	26.6
	4 室外機4	50.1	*1	8:30~22:00	38.8	81.8	56.4	17.6	11.1	14.4
	5 室外機5	52.1	*1	8:30~22:00	38.6	78.1	55.9	19.7	13.5	16.5
	6 室外機6	52.1	*1	8:30~22:00	38.7	74.6	55.6	19.6	13.9	16.5
	7 室外機7	52.1	*1	8:30~22:00	39.1	71.0	55.8	19.6	14.4	16.5
	8 室外機8	46.1	*1	8:30~22:00	39.8	67.6	55.8	13.4	8.8	10.5
	9 室外機9	52.1	*1	8:30~22:00	61.4	59.8	36.0	15.6	15.9	20.3
	10 室外機10	52.1	*1	8:30~22:00	64.4	59.9	33.1	15.2	15.9	21.0
	11 室外機11	52.1	*1	8:30~22:00	67.5	60.2	30.1	14.8	15.8	21.8
	12 室外機12	52.1	*1	8:30~22:00	70.5	60.7	27.2	14.4	15.7	22.7
	13 室外機13	52.1	*1	8:30~22:00	79.4	73.8	15.3	13.4	14.0	27.7
	14 室外機14	52.1	*1	8:30~22:00	79.5	82.7	18.5	13.4	13.0	26.1
	15 室外機15	52.1	*1	8:30~22:00	82.4	86.3	36.9	15.5	12.7	20.1
	16 冷凍冷蔵庫屋外機1	63.0	*1	終日	84.2	69.4	11.0	24.5	26.2	42.2
	17 冷凍冷蔵庫屋外機2	62.7	*1	終日	84.5	67.1	12.2	24.2	26.2	41.0
	18 冷凍冷蔵庫屋外機3	54.1	*1	終日	38.1	77.1	56.2	22.5	16.4	19.1
	19 冷凍冷蔵庫屋外機4	54.1	*1	終日	38.1	75.8	56.1	22.5	16.5	19.1
	20 排気口1	50.8	*1	8:30~22:00	37.9	84.4	58.0	18.5	11.6	14.8
	21 排気口2	56.3	*1	8:30~22:00	38.1	85.3	58.2	24.0	17.0	20.3
	22 排気口3	51.4	*1	8:30~22:00	45.7	90.7	54.5	17.5	11.5	16.0
	23 排気口4	51.4	*1	8:30~22:00	46.6	90.5	53.6	17.3	11.6	16.1
	24 排気口5	53.3	*1	8:30~22:00	49.0	90.1	51.2	18.8	13.5	18.4
	25 排気口6	53.3	*1	8:30~22:00	50.8	89.9	49.6	18.5	13.5	18.7
	26 排気口7	53.3	*1	8:30~22:00	52.5	89.7	47.9	18.2	13.5	19.0
	27 排気口8	53.3	*1	8:30~22:00	54.2	89.6	46.3	17.9	13.6	19.3
	28 排気口9	53.3	*1	8:30~22:00	55.9	89.5	44.7	17.7	13.6	19.6
	29 排気口10	53.3	*1	8:30~22:00	57.7	89.4	43.1	17.4	13.6	19.9
	30 排気口11	45.0	*1	8:30~22:00	83.9	91.5	22.1	5.8	5.1	17.4
	31 キュービクル	51.7	*2	終日	41.2	88.0	56.7	19.4	12.8	16.6
変動騒音	※ 来客車両走行音	74.0	*3	572台×2回	-	-	-	42.1	35.8	37.7
	※ 搬出入車両走行音	83.5	*3	10台×1~2回	-	-	-	26.3	22.0	20.6
	※ 廃棄物収集車両走行音	83.5	*3	3台×1~2回	-	-	-	21.1	16.8	15.4
	32 搬出入車両後進警報ブザー音	90.0	*4	10台×16秒	37.7	58.9	66.2	32.9	29.0	28.0
	33 廃棄物収集車両後進警報ブザー音	90.0	*4	3台×16秒	37.7	58.9	66.2	27.7	23.8	22.8
	34 廃棄物収集作業音(圧縮)	90.0	*4	3台×240秒	39.9	60.5	59.8	39.0	35.4	35.5
	35 廃棄物収集作業音(非圧縮)	85.0	*4	3台×90秒	39.9	60.5	59.8	29.7	26.1	26.2
	36 搬出入車両アイドリング音	78.6	*4	2台×1200秒	39.9	60.5	59.8	32.8	29.2	29.3
	37 台車走行音	71.0	*4	10台×6秒×10回	36.9	68.0	58.6	19.9	14.5	15.8
	38 荷下ろし音	72.5	*5	10台×22回	36.9	68.0	58.6	17.0	11.6	12.9
衝撃騒音	39 搬出入車両荷台扉開音	74.7	*5	10台×1回	36.9	68.0	58.5	5.8	0.4	1.8
	40 搬出入車両荷台扉閉音	77.2	*5	10台×1回	36.9	68.0	58.5	8.3	2.9	4.3
	41 搬出入車両座席扉開閉音	79.6	*5	10台×2回	39.9	60.5	59.8	13.0	9.4	9.5
	42 搬出入車両エンジン始動音	79.9	*5	8台×1回	39.9	60.5	59.8	9.3	5.7	5.8
昼間(午前6時~午後10時)					予測地点A		予測地点B		予測地点C	
等価騒音レベル					45.4dB		40.7dB		46.5dB	
地域の類型					B類型		B類型		B類型	
環境基準値					55dB		55dB		55dB	

*1 メーカー提供データより *2 既存店舗調査結果より(等価騒音レベル)
 *3 「ASJ Model 2003」より *4 「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き」より
 *5 既存店舗調査結果より(単発騒音暴露レベル)
 *6 騒音予測地点A~Cは資料-6に示す。

[評価]

予測の結果、「昼間」の等価騒音レベルは全ての地点において基準値を満足するものであり、変更計画に伴い店舗から発生する騒音が周辺地域へ与える影響は少ないものと推察された。

(3) 夜間の等価騒音レベルの予測

騒音発生源		基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)			各予測地点における騒音レベル(dB)		
		騒音レベル(dB)	※根拠		A地点	B地点	C地点	A地点	B地点	C地点
定常騒音	16 冷凍冷蔵庫屋外機1	63.0	*1	終 日	84.2	69.4	11.0	24.5	26.2	42.2
	17 冷凍冷蔵庫屋外機2	62.7	*1	終 日	84.5	67.1	12.2	24.2	26.2	41.0
	18 冷凍冷蔵庫屋外機3	54.1	*1	終 日	38.1	77.1	56.2	22.5	16.4	19.1
	19 冷凍冷蔵庫屋外機4	54.1	*1	終 日	38.1	75.8	56.1	22.5	16.5	19.1
	31 キュービクル	51.7	*2	終 日	41.2	88.0	56.7	19.4	12.8	16.6
変動騒音	※ 来客車両走行音	74.0	*3	82台×1回	-	-	-	33.6	27.3	29.2
	※ 搬出入車両走行音	83.5	*3	3台×1～2回	-	-	-	24.1	19.8	18.4
衝撃騒音	38 荷下ろし音	72.5	*4	3台×22回	38.9	68.0	58.6	14.8	9.4	10.7
	39 搬出入車両荷台扉開音	74.7	*4	3台×1回	38.9	68.0	58.5	3.6	-	-
	40 搬出入車両荷台扉閉音	77.2	*4	3台×1回	38.9	68.0	58.5	6.1	0.7	2.1
	41 搬出入車両座席扉開閉音	79.6	*4	3台×2回	39.9	60.5	59.8	10.8	7.2	7.3
	42 搬出入車両エンジン始動音	79.9	*4	3台×1回	39.9	60.5	59.8	8.1	4.5	4.6
夜間(午後10時～午前6時)					予測地点A		予測地点B		予測地点C	
等価騒音レベル					35.6dB		32.0dB		44.8dB	
地域の類型					B類型		B類型		B類型	
環境基準値					45dB		45dB		45dB	

*1 メーカー提供データより

*2 既存店舗調査結果より(等価騒音レベル)

*3 「ASJ Model 2003」より

*4 既存店舗調査結果より(単発騒音暴露レベル)

*5 騒音予測地点A～Cは資料-6に示す。

*6 各予測地点における等価騒音レベル(dB)欄に示す記号「-」は、デシベルの計算上マイナスの値を示す

[評価]

予測の結果、「夜間」の等価騒音レベルは全ての地点において基準値を満足するものであり、変更計画に伴い店舗から発生する騒音が周辺地域へ与える影響は少ないものと推察された。

3 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあつては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠〔規則第41条第⑩〕
《夜間（午後10時～午前6時）において発生することが見込まれる騒音》

騒音発生源		基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)			敷地境界上における騒音レベル(dB)				
		騒音レベル(dB)	※根拠		a地点	b地点	c地点	a地点	b地点	c地点		
定常騒音	16	冷凍冷蔵庫屋外機1	63.0	*1	終日	77.9	27.9	0.6	25.2	34.1	67.4	
	17	冷凍冷蔵庫屋外機2	62.7	*1	終日	78.2	25.8	2.4	24.8	34.5	55.1	
	18	冷凍冷蔵庫屋外機3	54.1	*1	終日	31.8	46.4	47.3	24.1	20.8	20.6	
	19	冷凍冷蔵庫屋外機4	54.1	*1	終日	31.8	45.4	47.1	24.1	21.0	20.6	
	31	キュービクル	51.7	*2	終日	35.1	54.4	49.4	20.8	17.0	17.8	
変動騒音	※	来客車両走行音1-1	74.0	*3	82台×1回	37.6	41.2	59.1	42.5	41.7	14.7	
	※	来客車両走行音1-2	74.0	*3	82台×1回	35.4	41.1	57.7	43.0	41.7	14.8	
	※	来客車両走行音1-3	74.0	*3	82台×1回	33.7	41.1	56.4	43.4	41.7	15.0	
	※	来客車両走行音2-1	74.0	*3	82台×1回	30.9	43.7	58.0	44.2	41.2	14.7	
	※	来客車両走行音2-2	74.0	*3	82台×1回	27.2	48.3	62.4	45.3	40.3	14.1	
	※	来客車両走行音2-3	74.0	*3	82台×1回	23.9	53.2	66.9	46.4	39.5	13.5	
	※	来客車両走行音3-1	74.0	*3	82台×1回	20.4	56.1	68.8	47.6	39.0	13.2	
	※	来客車両走行音3-2	74.0	*3	82台×1回	16.6	57.5	68.4	49.6	38.8	13.3	
	※	来客車両走行音3-3	74.0	*3	82台×1回	13.1	59.3	68.3	51.7	38.5	13.3	
	※	来客車両走行音4-1	74.0	*3	82台×1回	10.5	61.3	68.5	53.6	38.3	13.3	
	※	来客車両走行音4-2	74.0	*3	82台×1回	9.4	63.6	69.0	54.5	37.9	13.2	
	※	来客車両走行音4-3	74.0	*3	82台×1回	10.5	66.1	69.8	56.6	37.6	13.2	
	※	来客車両走行音5-1	74.0	*3	82台×1回	13.5	65.7	68.2	51.4	37.6	13.4	
	※	来客車両走行音5-2	74.0	*3	82台×1回	17.5	62.3	63.8	49.1	38.1	13.9	
	※	来客車両走行音5-3	74.0	*3	82台×1回	21.7	58.9	59.5	47.3	38.6	14.5	
	※	来客車両走行音6-1	74.0	*3	82台×1回	23.3	55.7	56.7	46.7	39.1	14.9	
	※	来客車両走行音6-2	74.0	*3	82台×1回	22.8	52.7	55.8	46.3	39.6	15.1	
	※	来客車両走行音6-3	74.0	*3	82台×1回	23.3	49.9	55.2	46.7	40.0	15.2	
	※	来客車両走行音7-1	74.0	*3	82台×1回	30.9	42.1	55.3	44.2	41.5	15.1	
	※	来客車両走行音7-2	74.0	*3	82台×1回	27.4	44.4	54.8	45.2	41.1	15.2	
	※	来客車両走行音7-3	74.0	*3	82台×1回	24.8	47.1	54.8	46.1	40.5	15.2	
騒音	※	来客車両走行音8-1	74.0	*3	82台×1回	34.4	39.3	54.0	43.3	42.1	15.4	
	※	来客車両走行音8-2	74.0	*3	82台×1回	37.7	35.5	50.5	42.5	43.0	15.9	
	※	来客車両走行音8-3	74.0	*3	82台×1回	41.2	31.6	47.0	41.7	44.0	16.6	
	※	来客車両走行音9-1	74.0	*3	82台×1回	45.0	27.3	43.0	40.9	45.3	17.3	
	※	来客車両走行音9-2	74.0	*3	82台×1回	49.2	22.6	38.3	40.2	46.9	18.2	
	※	来客車両走行音9-3	74.0	*3	82台×1回	53.6	18.2	33.8	39.4	49.6	19.3	
	※	来客車両走行音10-1	74.0	*3	82台×1回	57.8	14.3	29.6	38.8	50.9	20.5	
	※	来客車両走行音10-2	74.0	*3	82台×1回	61.9	11.1	25.9	38.2	53.1	21.6	
	※	来客車両走行音10-3	74.0	*3	82台×1回	65.9	9.2	22.5	37.6	54.7	23.6	
	※	来客車両走行音11-1	74.0	*3	82台×1回	70.0	9.2	19.4	37.1	54.7	26.7	
	※	来客車両走行音11-2	74.0	*3	82台×1回	74.2	11.1	17.0	36.6	53.1	32.0	
	※	来客車両走行音11-3	74.0	*3	82台×1回	78.2	14.1	15.5	36.1	51.0	42.7	
	※	来客車両走行音12-1	74.0	*3	82台×1回	68.6	7.5	22.0	37.3	56.5	26.4	
	※	来客車両走行音12-2	74.0	*3	82台×1回	69.7	4.6	24.3	37.1	60.7	26.0	
	※	来客車両走行音12-3	74.0	*3	82台×1回	71.0	1.7	26.7	37.0	69.2	26.8	
	音	※	搬出入車両走行音1-1	83.5	*3	2台×2回	37.6	41.2	59.1	52.0	51.2	24.2
		※	搬出入車両走行音1-2	83.5	*3	2台×2回	35.4	41.1	57.7	52.3	51.2	24.3
		※	搬出入車両走行音1-3	83.5	*3	2台×2回	33.7	41.1	56.4	52.9	51.2	24.5
		※	搬出入車両走行音2-1	83.5	*3	1台×2回	30.9	43.7	58.0	53.7	50.7	24.2
		※	搬出入車両走行音2-2	83.5	*3	1台×2回	27.2	48.3	62.3	54.8	49.8	23.6
※		搬出入車両走行音2-3	83.5	*3	1台×2回	23.9	53.2	66.9	55.9	49.0	23.0	
※		搬出入車両走行音3-1	83.5	*3	1台×2回	33.0	40.6	54.7	53.1	51.3	24.7	
※		搬出入車両走行音3-2	83.5	*3	1台×2回	33.5	39.2	52.6	53.0	51.6	25.1	
※		搬出入車両走行音3-3	83.5	*3	1台×2回	34.0	38.1	50.5	52.9	51.9	25.4	

*1 メーカー提供データより

*2 既存店舗調査結果より（等価騒音レベル）

*3 「ASJ Model 2003」より

騒音発生源			基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)			敷地境界上における騒音レベル(dB)		
			騒音レベル(dB)	※根拠		a 地点	b 地点	c 地点	a 地点	b 地点	c 地点
衝撃騒音	38	荷下ろし音	76.0	*4	3台×22回	30.8	41.5	48.7	46.2	43.6	17.6
	39	搬出入車両荷台扉開音	76.4	*4	3台×1回	30.8	41.5	48.7	46.6	44.0	19.7
	40	搬出入車両荷台扉閉音	79.9	*4	3台×1回	30.8	41.5	48.7	50.1	47.5	21.3
	41	搬出入車両座席扉開閉音	81.7	*4	3台×2回	34.4	37.5	49.5	51.0	50.2	25.0
	42	搬出入車両エンジン始動音	82.4	*4	3台×1回	34.4	37.5	49.5	51.7	50.9	24.5
夜間(午後10時～午前6時)						a 地点		b 地点		c 地点	
最大値のレベル						55.9 dB		69.4 dB		67.4 dB	
区域の種別						第2種区域		第2種区域		第2種区域	
規制基準値						45 dB		45 dB		45 dB	

*4 既存店舗調査結果より(騒音レベル最大値)

*6 騒音予測地点a～cは、資料-6に示す。

〔評価〕

予測の結果、全ての地点において基準値を上回ることが予測された。

[規制値を超過する場合の対策（または対策不要の理由）]

店舗敷地境界上で基準値を超過する騒音発生源について、近接して立地する保全対象側（A及びB地点）にて再予測を行った結果、全ての地点において自動車走行音及び荷さばき作業に伴い発生する騒音の影響により基準値を上回ることが予測された。

自動車走行音の影響を抑制すべく、駐車場内に徐行運転（10km/h以下）やアイドリング禁止を励行する旨の看板を設置して来店者に騒音防止の意識を周知いたします。

一方、夜間に占める荷さばき作業時間帯（60分）に対して、a地点では約2分間（発生時間率3.4%）、b地点では約1分間（発生時間率1.4%）が基準値を超過することになるが、騒音規制法における騒音評価量90%レンジ上端値で見ると規制基準は満足するため、周辺住居等に与える騒音の影響は比較的小さいものと推察される。

変動後、万一、近隣住民よりご意見を頂いた場合には、状況を確認し、明らかに当該店舗が起因している場合には、誠意を持って可能な対応をいたします。

A地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
	番号	機 器 名 称	高さ						
衝撃騒音	38	荷下ろし音	0.6	76.0	34.7	30.8	-	45.2	45
	39	搬出入車両荷台扉開音	1.5	76.4	34.7	30.8	-	45.6	
	40	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	79.9	34.7	30.8	-	49.1	
	41	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	81.7	37.9	31.6	-	50.1	
	42	搬出入車両エンジン始動音	0.6	82.4	37.9	31.6	-	50.8	
	※	来客車両走行音（線分番号2-2）	0.6	74.0	31.4	29.9	-	44.1	
	※	来客車両走行音（線分番号2-3）	0.6	74.0	27.5	28.8	-	45.2	
	※	来客車両走行音（線分番号3-1）	0.6	74.0	24.0	27.6	-	46.4	
	※	来客車両走行音（線分番号3-2）	0.6	74.0	20.8	26.4	-	47.6	
	※	来客車両走行音（線分番号3-3）	0.6	74.0	18.2	25.2	-	48.8	
	※	来客車両走行音（線分番号4-1）	0.6	74.0	16.4	24.3	-	49.7	
	※	来客車両走行音（線分番号4-2）	0.6	74.0	15.8	24.0	-	50.0	
	※	来客車両走行音（線分番号4-3）	0.6	74.0	16.5	24.3	-	49.7	
	※	来客車両走行音（線分番号5-1）	0.6	74.0	19.3	25.7	-	48.3	
	※	来客車両走行音（線分番号5-2）	0.6	74.0	23.6	27.5	-	46.5	
	※	来客車両走行音（線分番号5-3）	0.6	74.0	27.9	28.9	-	45.1	
	※	来客車両走行音（線分番号6-1）	0.6	74.0	29.6	29.4	-	44.6	
	※	来客車両走行音（線分番号6-2）	0.6	74.0	29.2	29.3	-	44.7	
	※	来客車両走行音（線分番号6-3）	0.6	74.0	29.5	29.4	-	44.6	
	※	来客車両走行音（線分番号7-2）	0.6	74.0	33.0	30.4	-	43.6	
	※	来客車両走行音（線分番号7-3）	0.6	74.0	30.8	29.8	-	44.2	
	※	搬出入車両走行音（線分番号1-1）	0.6	83.5	41.6	32.4	-	51.1	
	※	搬出入車両走行音（線分番号1-2）	0.6	83.5	39.8	32.0	-	51.5	
	※	搬出入車両走行音（線分番号1-3）	0.6	83.5	38.4	31.7	-	51.8	
	※	搬出入車両走行音（線分番号2-1）	0.6	83.5	35.5	31.0	-	52.5	
	※	搬出入車両走行音（線分番号2-2）	0.6	83.5	31.4	29.9	-	53.6	
	※	搬出入車両走行音（線分番号2-3）	0.6	83.5	27.5	28.8	-	54.7	
	※	搬出入車両走行音（線分番号3-1）	0.6	83.5	37.9	31.6	-	51.9	
	※	搬出入車両走行音（線分番号3-2）	0.6	83.5	38.7	31.8	-	51.7	
	※	搬出入車両走行音（線分番号3-3）	0.6	83.5	39.4	31.9	-	51.6	

荷さばき作業音が基準値を上回る時間の算出は、発生台数、発生回数及び発生時間より、又、自動車走行音が基準値を上回る時間の算出は、線分の Δt と発生回数より求める。

荷さばき作業音（音源番号38～42）

超過時間＝発生台数×騒音発生回数×発生時間

$$= (3 \times 22 \times 1) + (3 \times 1 \times 1) + (3 \times 1 \times 1) + (3 \times 2 \times 1) + (3 \times 1 \times 1) \\ = 81 \text{秒}$$

搬出入車両走行音（線分番号1-1、1-2、1-3、2-1、2-2、2-3、3-1、3-2、3-3）

超過時間＝ Δt ×騒音発生回数

$$= (1.06 \times 3) \times 6 + (1.72 \times 3 + 0.84 \times 3) \times 3 \\ = 42.12 \text{秒}$$

超過時間＝荷さばき作業音＋搬出入車両走行音

$$= 81 \text{秒} + 42.12 \text{秒}$$

$$= 123.12 \text{秒} \approx 2 \text{分間} \quad (\text{発生時間率} 3.4\%)$$

A地点における騒音レベル最大値の予測結果（対策後）

騒音発生源			基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
番号	機器名称	高さ						
※	来客車両走行音（線分番号2-3）	0.6	69.0	27.5	28.8	-	40.2	45
※	来客車両走行音（線分番号3-1）	0.6	69.0	24.0	27.6	-	41.4	
※	来客車両走行音（線分番号3-2）	0.6	69.0	20.8	26.4	-	42.6	
※	来客車両走行音（線分番号3-3）	0.6	69.0	18.2	25.2	-	43.8	
※	来客車両走行音（線分番号4-1）	0.6	69.0	16.4	24.3	-	44.7	
※	来客車両走行音（線分番号4-2）	0.6	69.0	15.8	24.0	-	45.0	
※	来客車両走行音（線分番号4-3）	0.6	69.0	16.5	24.3	-	44.7	
※	来客車両走行音（線分番号5-1）	0.6	69.0	19.3	25.7	-	43.3	
※	来客車両走行音（線分番号5-2）	0.6	69.0	23.6	27.5	-	41.5	
※	来客車両走行音（線分番号5-3）	0.6	69.0	27.9	28.9	-	40.1	

B地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
番号	機器名称	高さ							
衝撃	40 搬出入車両荷台扉閉音	1.5	79.9	68.0	36.7	-	-	43.2	45
	41 搬出入車両座席扉閉音	1.5	81.7	60.5	35.6	-	-	46.1	
	42 搬出入車両エンジン始動音	0.6	82.4	60.5	35.6	-	-	46.3	
	※ 来客車両走行音 (線分番号9-1)	0.6	74.0	51.7	34.3	-	-	39.7	
	※ 来客車両走行音 (線分番号9-2)	0.6	74.0	50.5	34.1	-	-	39.9	
	※ 来客車両走行音 (線分番号9-3)	0.6	74.0	49.7	33.9	-	-	40.1	
	※ 来客車両走行音 (線分番号10-1)	0.6	74.0	49.5	33.9	-	-	40.1	
	※ 来客車両走行音 (線分番号10-2)	0.6	74.0	49.7	33.9	-	-	40.1	
	※ 来客車両走行音 (線分番号10-3)	0.6	74.0	50.3	34.0	-	-	40.0	
	※ 来客車両走行音 (線分番号11-1)	0.6	74.0	51.2	34.2	-	-	39.8	
	※ 来客車両走行音 (線分番号11-2)	0.6	74.0	52.5	34.4	-	-	39.6	
	※ 来客車両走行音 (線分番号11-3)	0.6	74.0	54.1	34.7	-	-	39.3	
	※ 来客車両走行音 (線分番号12-1)	0.6	74.0	49.3	33.9	-	-	40.1	
	※ 来客車両走行音 (線分番号12-2)	0.6	74.0	46.4	33.3	-	-	40.7	
	※ 来客車両走行音 (線分番号12-3)	0.6	74.0	43.5	32.8	-	-	41.2	
	※ 搬出入車両走行音 (線分番号1-1)	0.6	83.5	53.3	34.5	-	-	49.0	
	※ 搬出入車両走行音 (線分番号1-2)	0.6	83.5	55.6	34.9	-	-	48.6	
	※ 搬出入車両走行音 (線分番号1-3)	0.6	83.5	57.7	35.2	-	-	48.3	
	※ 搬出入車両走行音 (線分番号2-1)	0.6	83.5	60.5	35.6	-	-	47.9	
	※ 搬出入車両走行音 (線分番号2-2)	0.6	83.5	63.7	36.1	-	-	47.4	
	※ 搬出入車両走行音 (線分番号2-3)	0.6	83.5	67.2	36.5	-	-	47.0	
	※ 搬出入車両走行音 (線分番号3-1)	0.6	83.5	59.1	35.4	-	-	48.1	
	※ 搬出入車両走行音 (線分番号3-2)	0.6	83.5	59.6	35.5	-	-	48.0	
	※ 搬出入車両走行音 (線分番号3-3)	0.6	83.5	60.2	35.6	-	-	47.9	

衝撃：衝撃騒音を示す。

荷さばき作業音が基準値を上回る時間の算出は、発生台数、発生回数及び発生時間より、又、自動車走行音が基準値を上回る時間の算出は、線分の Δt と発生回数より求める。

荷さばき作業音 (音源番号41、42)

$$\begin{aligned}
 \text{超過時間} &= \text{発生台数} \times \text{騒音発生回数} \times \text{発生時間} \\
 &= (3 \times 2 \times 1) + (3 \times 1 \times 1) \\
 &= 9 \text{秒}
 \end{aligned}$$

搬出入車両走行音 (線分番号1-1、1-2、1-3、2-1、2-2、2-3、3-1、3-2、3-3)

$$\begin{aligned}
 \text{超過時間} &= \Delta t \times \text{騒音発生回数} \\
 &= (1.06 \times 3) \times 6 + (1.72 \times 3 + 0.84 \times 3) \times 3 \\
 &= 42.12 \text{秒}
 \end{aligned}$$

超過時間＝荷さばき作業音＋搬出入車両走行音

$$\begin{aligned}
 &= 9 \text{秒} + 42.12 \text{秒} \\
 &= 51.12 \text{秒} \approx 1 \text{分間 (発生時間率1.4\%)}
 \end{aligned}$$

4 騒音の予測と騒音対策

(1) 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策の概要

項 目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の配置等	別添「資料ー 4 平面図兼配置図（変更後）」に記載
荷さばき施設の騒音対策	・荷さばき施設は、十分な作業スペースを確保し、計画的な搬出入を行うことで、作業時間の短縮に努める。
荷さばき作業の騒音対策	・荷さばき車両のアイドリングを禁止するなど、作業員に対して騒音防止の意識を徹底する（但し、エンジンを停止することができない保冷車のアイドリングは除く）。

(2) 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機等の規模・能力・騒音レベル等

No.	項 目		設置の有 無	規模・能力	騒音レベル (dB)	騒音対策等
	種 類	形 式				
1	室外機1	PUZ-ZRMP224KA4	有	圧縮機出力 4.6kW	59.1	・定期的に保守点検を実施し、故障等による異音の発生を防止する。
2	室外機2	PUZ-ZRMP280KA4	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
4	室外機3	PUZ-ZRMP280KA4	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
5	室外機4	PUZ-ZRMP112KA14	有	圧縮機出力2.1kW	50.1	
4	室外機5	PUZ-ZRMP140KA14	有	圧縮機出力2.8kW	52.1	
6	室外機6	PUZ-ZRMP140KA14	有	圧縮機出力2.8kW	52.1	
7	室外機7	PUZ-ZRMP140KA14	有	圧縮機出力2.8kW	52.1	
8	室外機8	PUZ-ZRMP50KA14	有	圧縮機出力0.8kW	46.1	
9	室外機9	PUZ-ZRMP140KA14	有	圧縮機出力2.8kW	52.1	
10	室外機10	PUZ-ZRMP140KA14	有	圧縮機出力2.8kW	52.1	
11	室外機11	PUZ-ZRMP140KA14	有	圧縮機出力2.8kW	52.1	
12	室外機12	PUZ-ZRMP140KA14	有	圧縮機出力2.8kW	52.1	
13	室外機13	PUZ-ZRMP140KA14	有	圧縮機出力2.8kW	52.1	
14	室外機14	PUZ-ZRMP140KA14	有	圧縮機出力2.8kW	52.1	
15	室外機15	PUZ-ZRMP140KA14	有	圧縮機出力2.8kW	52.1	
16	冷凍冷蔵車屋外機1	OCU-CR2001MVF	有	圧縮機出力14.6kW	63.0	・大きな騒音が出ない形状を選択する。
17	冷凍冷蔵車屋外機2	OCU-CR3000MVF	有	圧縮機出力18.3kW	62.7	
18	冷凍冷蔵車屋外機3	OCU-CR200VF	有	圧縮機出力1.6kW	54.1	
19	冷凍冷蔵車屋外機4	OCU-CR200VF	有	圧縮機出力1.6kW	54.1	
20	排気口1	EF-30BSB3	有	出力0.05kW	50.8	
21	排気口2	EF-35DSB3	有	出力0.15kW	56.3	
22	排気口3	BFS-450TX	有	出力2.2kW	51.4	
23	排気口4	BFS-450TX	有	出力2.2kW	51.4	
24	排気口5	EFG-35KSB-W	有	出力0.1kW	53.3	
25	排気口6	EFG-35KSB-W	有	出力0.1kW	53.3	
26	排気口7	EFG-35KSB-W	有	出力0.1kW	53.3	
27	排気口8	EFG-35KSB-W	有	出力0.1kW	53.3	
28	排気口9	EFG-35KSB-W	有	出力0.1kW	53.3	
29	排気口10	EFG-35KSB-W	有	出力0.1kW	53.3	
30	排気口11	VD-23ZP9	有	—	45.0	
31	キュービクル	キュービクルa	有	—	51.7	無

(3) 駐車場の施設構造と騒音対策の概要

駐車場No.	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
駐車場	・特になし。	・繁忙期など混雑が見込まれる際には、交通整理員を配置して場内走行の円滑化を図り、渋滞による騒音の発生を抑制する。 ・駐車場利用時間外には、出入口をバリカー等で閉鎖し、外部からの侵入者が騒音を発生することがないように配慮する。

(4) 廃棄物収集作業にかかる騒音対策の概要

廃棄物収集場所の構造	回収時間帯	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
廃棄物等保管施設 (建物内)	8:00～18:00	・特になし。	・早朝、夜間には回収を行わない。 ・ゴミの排出量を減らし、収集時間を短縮できるよう努める。 ・業者には騒音抑制の意識を徹底させるとともに、エンジンの空ぶかしは行わないよう協力を要請する。

5 その他（特記事項）

特になし

〔廃棄物に係る事項等〕

1 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

〔規則 § 4 I ⑫〕

(1) 廃棄物等の排出量等の予測

(端数処理：四捨五入)

廃棄物種別	店舗面積：S		指 針 原単位	A 一日当たり 廃棄物排出量 (原単位×S)	B 平均 保管 日数	C 見かけ 比 重 (t/m³)	排出予測量 A×B÷C
紙製廃棄物等	6,000m³以下の部分	1.350千m²	0.208	0.28080 t	1日	0.10	2.81m³
金属製廃棄物等	6,000m³以下の部分	1.350千m²	0.007	0.00945 t	1日	0.10	0.09m³
ガラス製廃棄物等	6,000m³以下の部分	1.350千m²	0.006	0.00810 t	1日	0.10	0.08m³
プラスチック製 廃棄物等	6,000m³以下の部分	1.350千m²	0.020	0.02700 t	1日	0.01	2.70m³
生ゴミ等	6,000m³以下の部分	1.350千m²	0.169	0.22815 t	1日	0.55	0.41m³
その他の可燃性 廃棄物等		1.350千m²	0.054	0.07290 t	1日	0.38	0.19m³
合 計							6.28m³

〔見かけ比重について指針の数値によらない場合〕

該当なし

(2) 特別な事情による廃棄物等の排出量予測【特別な事情がある場合のみ記載】

該当なし

(3) 小売店舗以外の施設からの廃棄物等の排出状況【小売店舗以外の施設が有る場合のみ記載】

該当なし

(4) リサイクル品（再利用対象物）の排出量等の予測【小売業者が廃棄物等の回収を行う場合のみ記載】

該当なし

(5) その他の廃棄物等（廃家電・粗大ゴミ等）の排出量等の予測

【（1）以外の廃棄物等の排出が見込まれる場合に記載】

該当なし

2 保管場所の位置・構造等

廃棄物 種別	分別する 種類	施設 面積	施設 容量	管理上の対策			図面 No.
				悪臭発散 防止対策	汚水流出 防止対策	その他	
紙製廃棄物等	ダンボール	9.0m ²	29.70m ³	・密閉性が保 たれた構造とし ている	・特になし	・特になし	資料-4 参照
金属製廃棄物等	スチール缶 アルミ缶						
ガラス製廃棄物	ビン類						
プラスチック製 廃棄物	ペットボトル						
生ごみ等	生ごみ等	4.2m ²	13.86m ³				
その他の可燃性 廃棄物	紙くず等						
その他	—	—	—				
計		13.2m ²	43.56m ³				

3 その他（特記事項）

特になし

O

O